

## 国際婦人デー集会に寄せられたメッセージ 在日韓国民民主女性会からのメッセージ

### 女性の潜在能力を武器に韓米日の戦争勢力を打ち負かそう

#### 在日韓国民民主女性会

反戦平和と女性の権利確立を掲げ三・八国際婦人デーが制定されて一三年がすぎました。その崇高な精神を粘り強く継承・発展される貴団体の意志に敬意を表し、連帯あいさつを送ります。

関東大震災朝鮮人虐殺から一〇〇年、朝鮮戦争停戦協定七〇年を迎える今年、朝鮮半島の平和と統一、民衆の生存権を踏みにじる尹錫悦政権の退陣運動を進めることが重要な使命となっています。

平和憲法を形骸化し、「敵基地攻撃能力の保有」など安保関連三文書に基づく軍拡化を進める岸田政権。「戦争をする国」へ軍事費の増額は国民の生活と暮らしを破たんさせることは明らかです。

尹政権は米国に追随し対北敵視政策を露骨化しており、朝鮮民族の統一と平和実現の悲願を踏みにじています。毎週土曜日行なわれている韓国市民らの「尹錫悦退陣キャンドル勝利転換行動」は尹政権を確実に追い詰めています。

尹政権はこうした市民らの怒りをそらすため、多くの民主労総幹部らを「北の指示を受けてスパイ行為をした」として国家保安法違反容疑ででっち上げ逮捕するなど、公安弾圧をほしいままにしています。これに対して、国内の進歩勢力は「弾圧には抗争で」を合言葉に闘いの陣形を強化しています。

三〇年以上、日本軍「慰安婦」問題の真の解決のために全身全霊をかけて闘ってきた尹美香議員（無所属）。尹政権は何としても「慰安婦」問題解決運動に汚名を着せ、運動自体をつぶすため、尹議員に対し、日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯（正義記憶連帯）への寄付金横領などの容疑で濡れぎぬを着せましたが、一審判決で事実上無罪が言い渡されました。

さらに尹政権は、背任容疑などとともに民主党の李在明代表に逮捕状を請求し、国会に逮捕同意要求書を提出するなど拘束しようとしています。朴正熙軍事独裁政権時代でもなしえなかった野党代表への逮捕・拘束策動は前代未聞の暴挙であり、検察独裁による暗黒政治の前夜と言わざるをえません。

関東大震災朝鮮人大虐殺一〇〇年を迎え、この歴史事実を永遠に忘れない。

当時、「井戸に毒を入れた」「爆弾をもって襲ってくる」などの流言飛語のもと、官憲や自警団によって朝鮮人や中国人が無残に虐殺されました。虐殺され行方不明の家族、兄弟を一日千秋の思いで待ち続けこの世を去った同胞たち。

だが、日本政府は朝鮮人虐殺の真相究明はおろか、責任を回避したままです。こうした中で、日本では市民団体などが一〇〇年目の九月一日に向けてさまざまな取り組みを準備しており、韓国でも進歩勢力が「関東大震災朝鮮人虐殺追悼行事推進委員会」を立ち上げ、日本の市民団体と歩調を合わせて日本政府に真相解明と謝罪を求めています。

「停戦七〇年を平和元年に！」をスローガンに平和の大長征を開始し、終戦協定を締結させて朝鮮戦争に終止符を打ちましょう。朝鮮戦争の張本人の米国は国益のために停戦協定を死守し、対北敵視政策を維持するでしょう。その一環として、米国は三月中旬から対北核戦争演習を想定した大規模な韓米合同軍事演習を実施し、朝鮮半島の軍事緊張を極度に高めようとしています。

これに対し、韓国の女性平和運動ネットワークなど七六三の市民団体を網羅した「朝鮮半島終戦キャンペーン」が停戦七〇年平和行動出発大会を開き、国内二〇〇・海外一〇〇か所で多様な行動を起こすことを明らかにしました。

韓国から、朝鮮半島の平和実現の決意を世界に発信したいと思います。平和を希求するわたしたちは女性の潜在能力——忍耐力・感受性・包容力を武器に、韓米日の戦争勢力を圧倒し打ち負かしましょう。わたしたちはその日のために、世界の良心と日本のみなさまと固く連帯し続けるでしょう。ともに闘い、勝利しましょう。

(『思想運動』1087号 2023年4月1日号)